

# 企画書

ドールとの生活をより豊かにするための冊子

# DOLLIMA

## ターゲット

ドールをお迎えするオーナー



## 内容

お迎えしてからの「うちのこ」  
についての情報を書き込み、  
ドールとの思い出、過ごし方を綴る



# プロセス

step1

思い

日々の寂しさ、孤独感。それを感じる人は少なくないのではないか。日常に存在がいることは幸せであり、存在が、日々を満たしてくれる。

その存在は、何だっがいい。

step2

ドール

ドールというものは、人によって様々な捉え方をされる。愛に溢れたドール沼を、一つの「存在」として知ってもらいたい。

ドール沼へ。

step3

気付き

ただドールを知ってもらっても魅力は伝わりにくい。ドールの魅力はその、自由度の高さと、様々な楽しみ方があるということだ。

ドールの魅力は自由であること。

step4

ドールと持ち主  
の関係性

ドールは私を見つめてくれる。私にとってドールは分身だ。あの人にとってのドールはどんな存在だろう。

オーナーの数だけ関係性がある。

step5

ドールオーナーの  
ための冊子

ドールとオーナーの関係性を知ってもらうことで、ドールが「日常の存在」になるイメージをつけたい。

「日常に存在を。」

step6

展望

ドールオーナーを増やす、というよりは、ドールをもっと知ってもらいたい。「こんな世界もあるんだ」と、何か感じ取ってもらえたら嬉しい。

ドールの世界へようこそ。

# 市場調査

## ◆ ドール市場 ◆

大小様々な  
ドール

ネット販売  
・  
店舗販売

豊富な  
イベント

多種多様な  
カスタム

様々な  
ディーラー

オタク文化との  
融合

## ◆ ドールの用冊子の需要 ◆

### ◆ ドールに興味がある人

「ドールをお迎えしてからどう接しよう」

「飾っておくだけじゃなくて、

私なりにうちの子と生活したい」

→ **慣れないドールとの生活の指標になる。**

### ◆ ドールオーナー

「うちのこのことを記録として残したい」

「ドール生活に変化をつけたい。」

→ **ドール活動のサポート**